

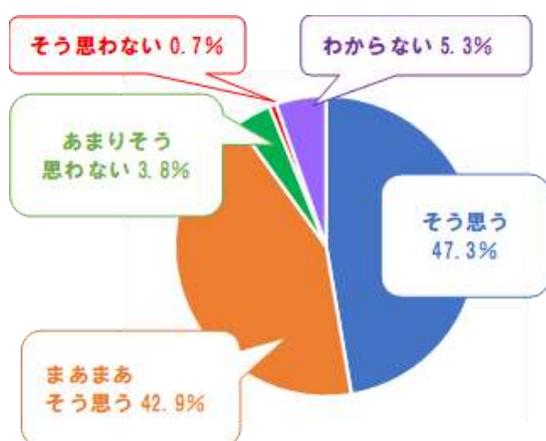
# 令和6年度 教育活動に関する保護者アンケート(12月実施)

狭山市立御狩場小学校  
校長 安達 隆元

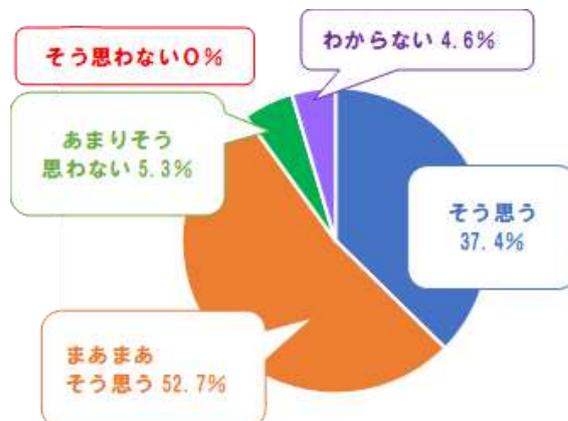
日頃より、本校の教育活動にご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。また、ご多用の中、「学校教育アンケート」にお答えいただき、ありがとうございました。保護者の皆様のご感想・ご意見に本当に感謝申し上げます。アンケート結果は以下のとおりとなりました。ご確認ください。

～ 子供たちの学習に関すること ～

## 1. 学校は、子供たちが分かりやすいと感じる授業をしている。

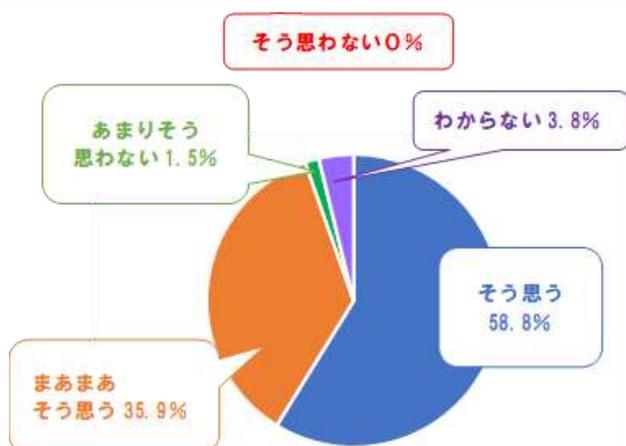


## 2. 学校は、学習内容が定着するような授業をしている。



多くの保護者の皆様に、「分かる授業・学習内容の定着を図る授業」について、肯定的に捉えていただいております。しかし、全ての児童に「分かる授業・学習内容の定着を図る授業」を展開することには、まだまだ課題があります。教職員の的確な指示、授業への関心を高める導入の工夫や子供同士の学び合いを意識した授業など、引き続き実践し、子供たちに「できる・わかる喜び」を実感できる教育活動に努めて参ります。併せて、各ご家庭におかれましても、お子様の宿題・家庭学習等の見届けにもご協力をお願いいたします。

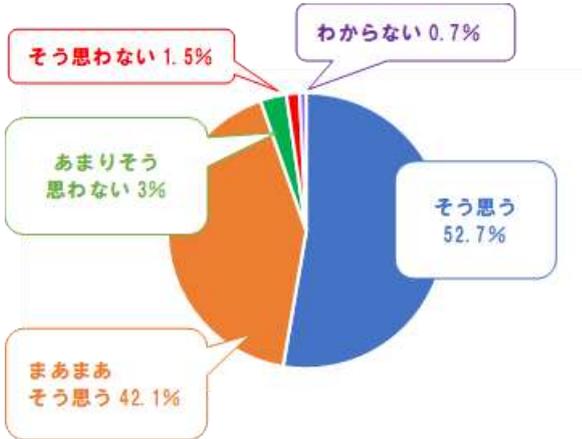
## 3. 学校は、子供たちの体力向上や健康の保持増進を図ることができるような指導をしている。



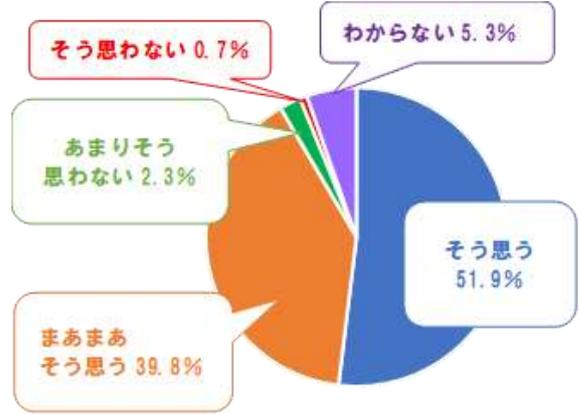
本校は、普段の体育の授業の他にも、毎日の自主的な朝マラソンの推奨や体育朝会、業間休みの長縄・ドッジボール等、子供同士の関わりや触れ合いを大切に、運動好きの児童の育成に努めてきました。引き続き、運動好きの児童の育成に努めていくとともに、手洗いうがいの徹底を図り、健康の保持増進にも努めて参ります。

～ 子供たちの学校生活に関すること ～

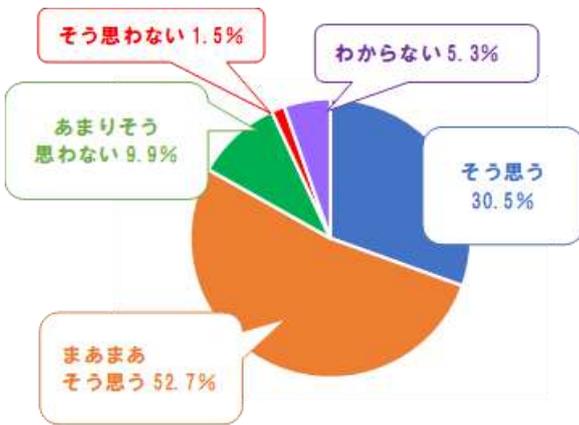
4. お子さんは、学校が楽しそうな様子である。



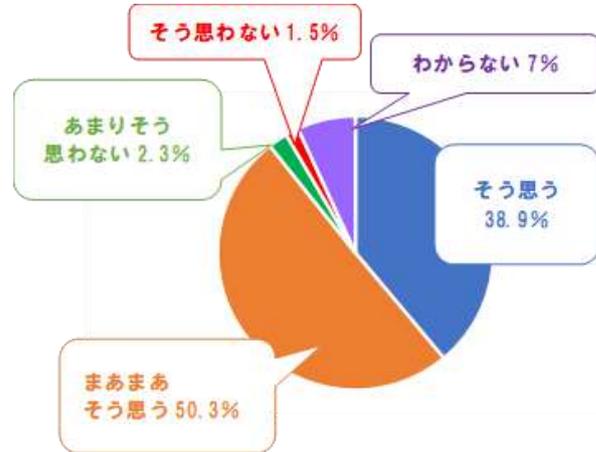
5. 学校は、児童が安全に過ごすことができるように指導や環境整備をしている。



6. 学校は、あいさつやていねいな言葉づかいが身に付いて、できるような指導をしている。



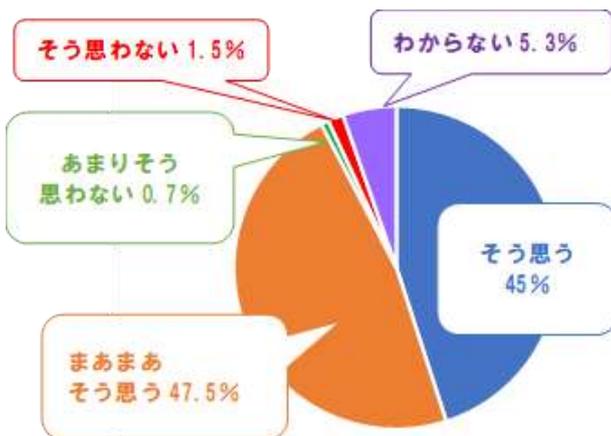
7. 学校は、自分も周りの人も大切にできる、温かい人間関係を築くことができるような指導をしている。



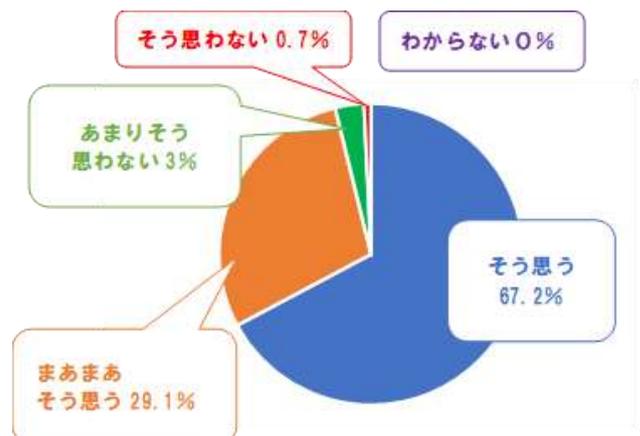
保護者の皆様には概ね肯定的な回答をお寄せいただきましたが、子供たちにとっての魅力ある学校づくりには、まだ課題があることを真摯に受け止めています。あいさつ・言葉づかいにつきましても、目指す学校像・児童像を共有化し、教職員があらゆる場面で児童に意識化できるよう努めて参ります。

～ 開かれた学校づくりの運営に関すること ～

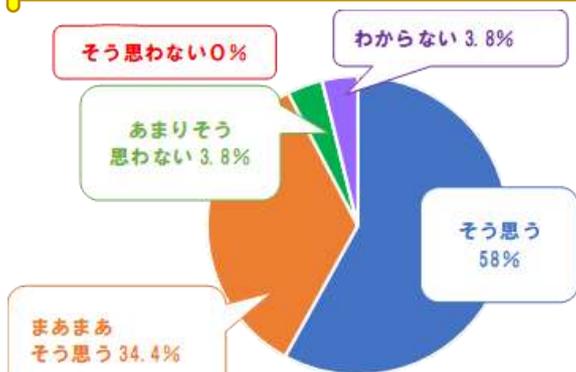
8. 学校は、保護者として相談しやすい環境を整えている。



9. 学校は、学校の様子がわかるような学校だより、学年だより、ホームページ等に行っている。



## 10. 学校は、地域との連携を図っている。



～その他のご意見～

### 【教員による指導や子供の関わり合いに関すること】

- 先生方のおかげで、安心して1年間を過ごすことができ、感謝しています。
- 病気や家族のことなど、思いもよらなかったことが多くありましたが、担任の先生には困難な時期に寄り添っていただき、大変ありがたかったです。子供も落ち着いて通学しており安堵しております。
- 子供のことで担任の先生に相談したところ、すぐに対応、気にかけて、改善策を考えていただけて大変感謝しています。どの先生も同じような対応であることを願っています。
- いつもありがとうございます。学級数が少なく、限られた人数の職員での対応は大変かと思いますが、これからもよろしく願っています。
- いつも大変、お世話になっております。本人は、あまり学校での出来事は語りませんが周りの先生方や学童、保護者の方からこんな様子だよ!と聞くことが多いです。本人の分からない部分をしっかり見てくださり、また何かあった時は、きちんと指導して下さい、感謝しております。いい出来事などは担任の先生がしっかりと連絡していただけるので安心して学校に通っています。これからもどうぞよろしくお願い致します。
- 昨年度よりも、子供が生き生きと、楽しそうに学校生活を送れている気がします。
- △●年生になってから、友人トラブルが多くなったように思います。原因となった児童の保護者にもしっかり事実を伝えてほしいです。
- △子供に対する接し方、言葉遣いが気になる先生がいます。子供も凄く気にして、嫌な気持ちになっているようです。
- △お友達の中でも「死ね」や「死ぬよ」という言葉が出ているようで、本人は毎回「言っちゃだめだよね!？」と親に確認してきます。少しさみしそうなので、学校の指導だけではどうにもならないけど、もう少し何か手段がないかと家庭でも考えております。

⇒子供たちの成長に大きな影響を与える教職員という職種を重く受け止め、私たち教職員、子供たちの言語環境も含め、子供たちが安心・安全に通える環境の整備に努めて参ります。また、できる限りの透明性のある開かれた学校の実現に向けて努めて参ります。

### 【学校生活に関すること】

- △本人は「挨拶している。」と言っていますが、身につけているのかは疑問があります。
- △給食着がたくさん纏われていて、交換もしくは各個人の所有が必要だと感じます。
- △冬季の体育授業にて上着だけでなくレギンスの着用も許可してほしいと思います。

⇒あいさつの大切さについて、引き続き、指導して参ります。また、給食着の交換に関しましては、学級の給食着の状態をみて、必要に合わせて交換して参りますので、引き続き、当番時には洗濯のご協力をお願いいたします。体育授業時のレギンスの着用ですが、汗をかいた際、すぐに着脱ができないことが問題になりますので、ご理解ください。こうした学校のきまりに疑問をお持ちの方もいると思います。検討して参りますので、引き続き、ご意見をお願いいたします。

保護者・地域の皆様に多くのご協力をいただくことで、教育活動が滞りなく進んでおります。

学習支援や見守り、読み聞かせをはじめとした様々な教育活動へのご協力、心より感謝申し上げます。今年度は新たに除草作業にもボランティアさんにご協力いただきました。こうした取組も、「スクリレ」や「緊急メール」等を活用し、学校からの情報配信も引き続き、努めて参ります。

保護者・地域の皆様のご協力が、児童の学校生活の充実、並びに本校の支えとなっております。引き続き、ご協力をお願いいたします。併せて、ご意見・ご感想等、いつでもお問い合わせください。

### 【学習に関すること】

- 授業参観の際、電子黒板を使用して授業をしていて、動画で図形を変化させられるのは、視覚的にイメージしながら考えられるのがすごいと思いました。
- △タブレットを机上で操作している間は問題なかったのですが、ノートを書く時に教科書・タブレット・ノート・筆箱を全部置くと書きづらそうにしている子が何人かおり、工夫が必要だと感じました。
- △先生が手書きで板書するのと違って展開が早く、子供たちがノートに書き写す作業がついていけないように感じました。
- △宿題をするときにワークの問題が分からない時も多々あり、長期休み中のワークの問題は教科書で振り返りながらやっと仕上げています。

⇒本校では、来年度、ICT活用に向けた教職員の校内研修を行います。授業中のタブレットの扱い方をはじめとした約束事の共通理解を図り、活用を進めてまいります。宿題がわからない場合につきましても、お子様と一緒に取り組んでいただき、ありがとうございます。子供たちの「分かる授業」になるよう日々、努めて参ります。日々の宿題が分からないという際には、まずは担任までご連絡をください。学習は積み重ねてできているものですので、定着がなされていないことが早い段階でわかりましたら、大変助かります。学校とご家庭で共通理解を図りながら、家庭での学習を進められればと考えております。

### 【緊急メール・スクリーン等、情報開示に関すること】

- 学校だよりで、校長先生の1日を興味深く読ませていただきました。
- みかりば日記は、子供たちの学校での様子が分かりやすく、家で子供との会話の話題にもできるので、ありがたいです。お忙しい中、書いていただき、いつもありがとうございます。
- 1ヶ月に一度出される学校・学年だよりでは、学校の様子や行事予定、連絡事項などを知ることができるので、毎号欠かさずに読ませていただいています。特に今年度の学校だよりは学校のことについて詳しく書かれていたので、初めて知ることも多く読み応えがあって良かったと思います。また、毎週配布される週予定は子供自身で用意するものを前もって知ることができるので、助かっています。
- △昨年度まで配付されていた学級だよりがなくなってしまったのは残念です。学級だよりよりも学級内での出来事や授業の様子などが伝わるものなので、子供との会話につながっていた部分もあるので、ぜひ、復活させてほしいです。先生方の作業が増えてしまうので、週予定の片隅にクラスの様子などを載せる欄があってもよいのかなと思います。
- △学校から配付されるプリントがとても分かりづらいです。見慣れるまで時間がかかります。

⇒本年度は、「学級だより」に替わり、「週予定表」の配付を行いました。これは学習の予定を子供たちが見て、忘れ物をなくし、見直しをもって学習にのぞんでもらうことを意図としています。この取組は来年度も継続するとともに、教職員の中でも、保護者に学級の様子を伝えたいという声もあります。「学級だより」は担任裁量とし、「みかりば日記」等でも可能な範囲でお伝えできるようにして参ります。併せて、学校からお知らせする配付文書の文章量の多さからくる分かりづらさについては、今後も精査して参ります。

### 【地域との関わりに関すること】

- 今年度、初めて子ども110番の家スタンプラリーが実施されたのは、とても良かったです。子供たちも楽しみながら助けを求める家の場所を知ることができて、家によっては、顔を合わせて挨拶をし、いざというときに知らない人の家ではなく、一度でも顔を合わせたことのある家というだけで、行きやすくなったのかなと思います。
- △今回は、登校班の通る道(自分の地区)のみでしたが、登下校が異なる道を通る子や放課後に遊んでいる時にも助けを求められる場所を知っておいてもらいたいので、もし来年度も実施するのであれば、全体でのスタンプカードになっていると良いと思いました。

⇒来年度は、子ども110番の家にご登録いただいている全てのスタンプラリー表に変えて、実施いたします。ただし、知区が広くなるため、安全の確保が懸念されます。そのため、ルールを決めて実施をしますが、保護者や地域の皆様にもご協力をいただくこともあると思います。その際は、どうぞ、よろしく願いいたします。